

本年度施工範囲

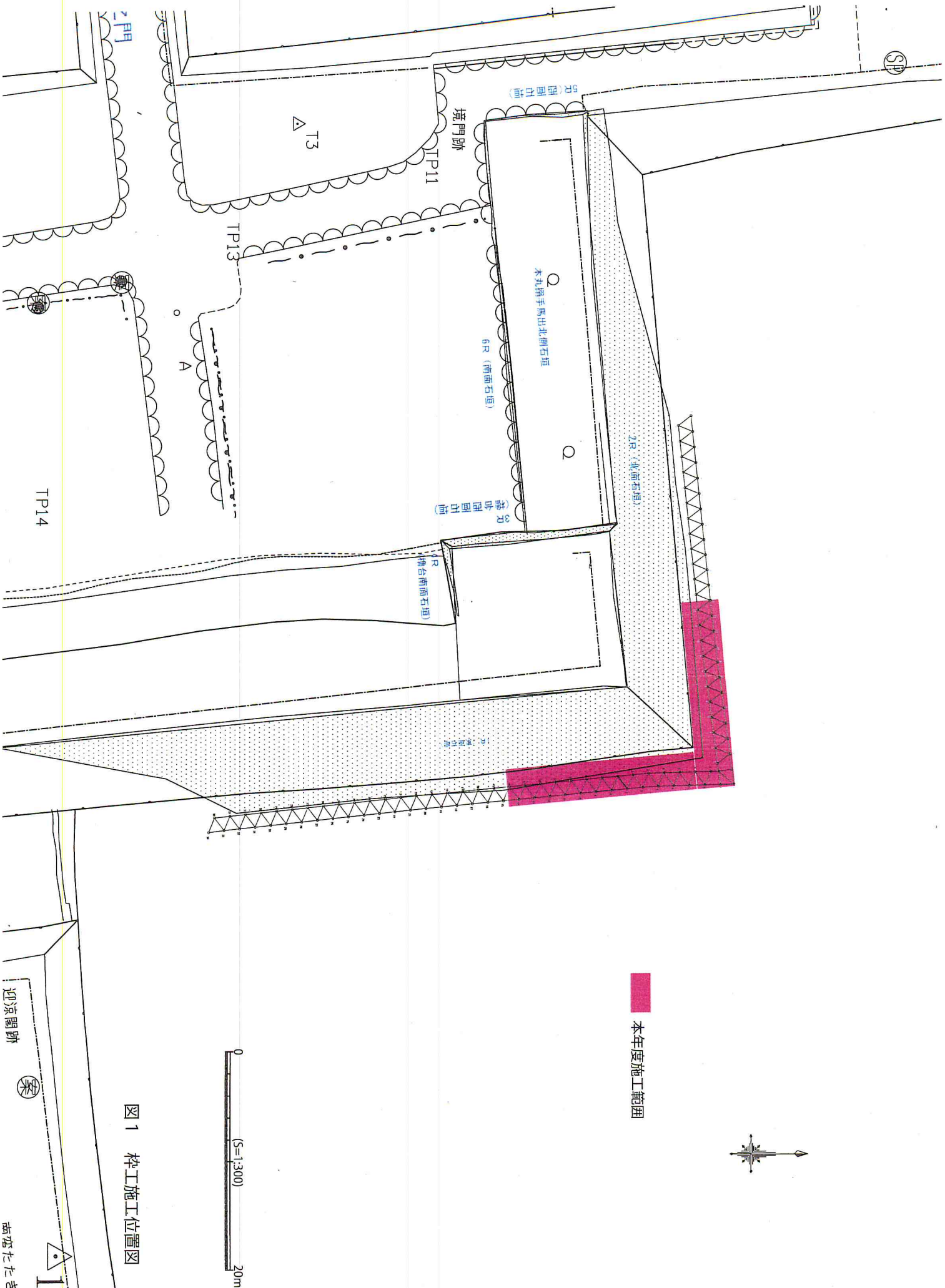


図1 杵工施工位置図

東面

北面

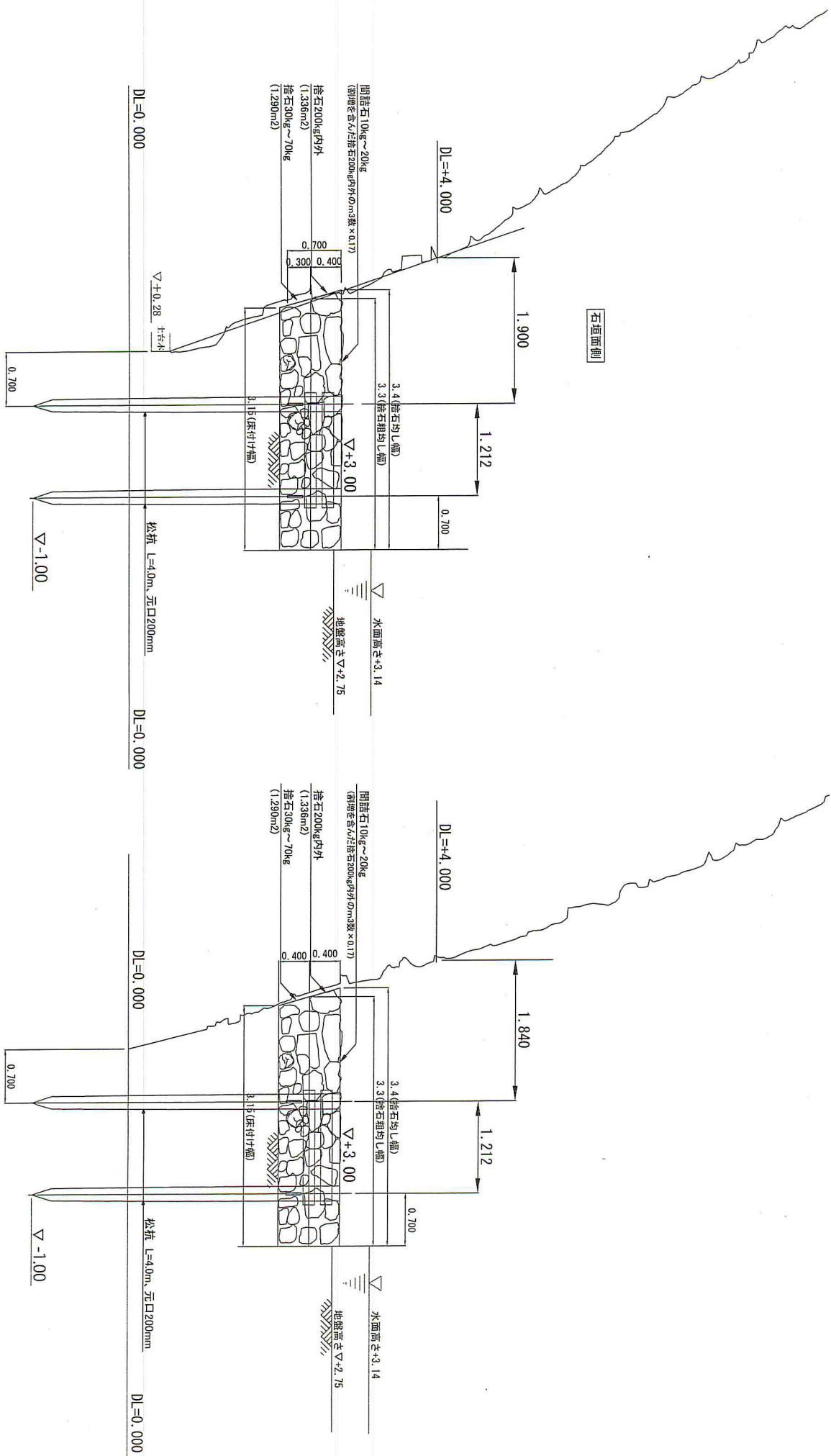
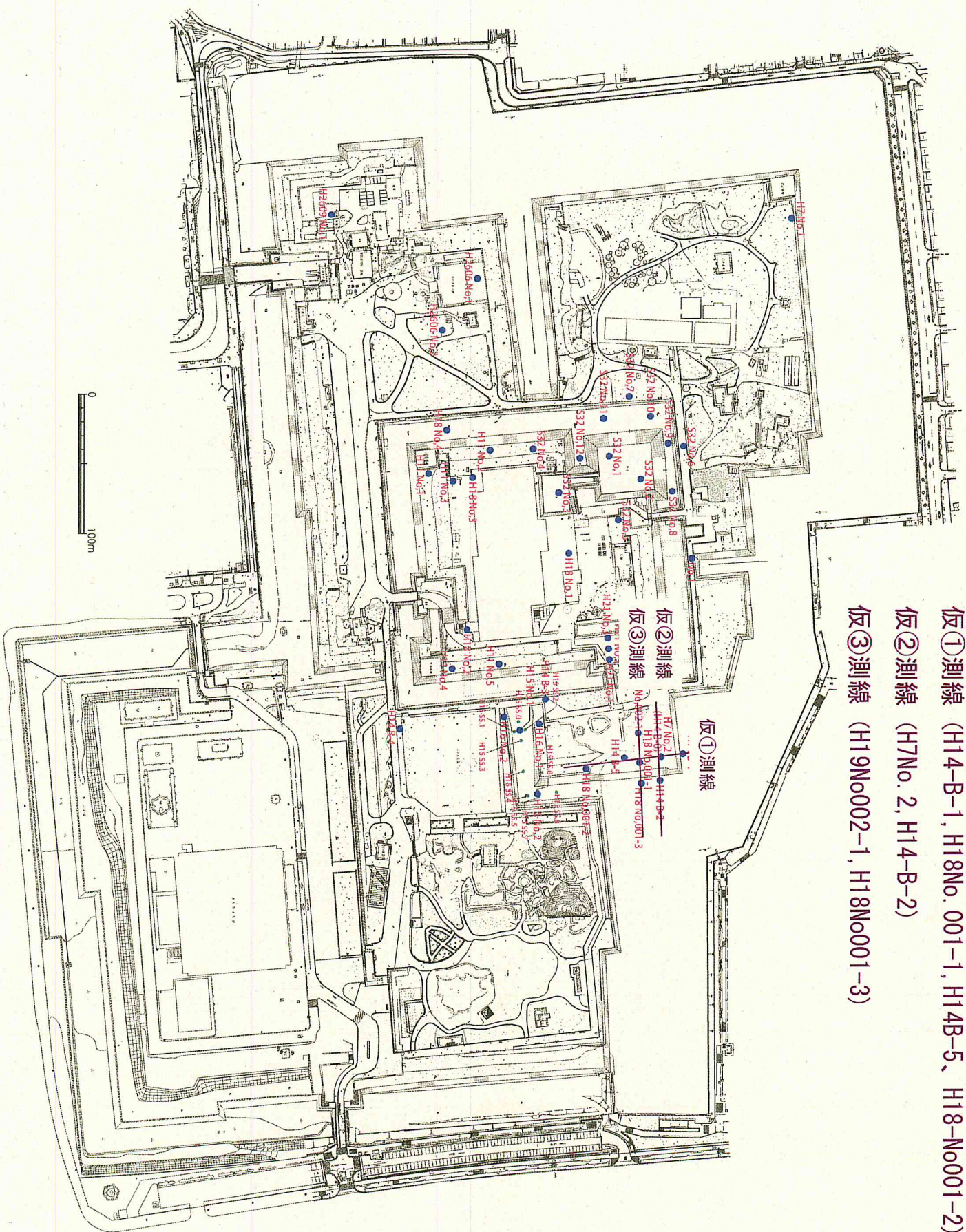
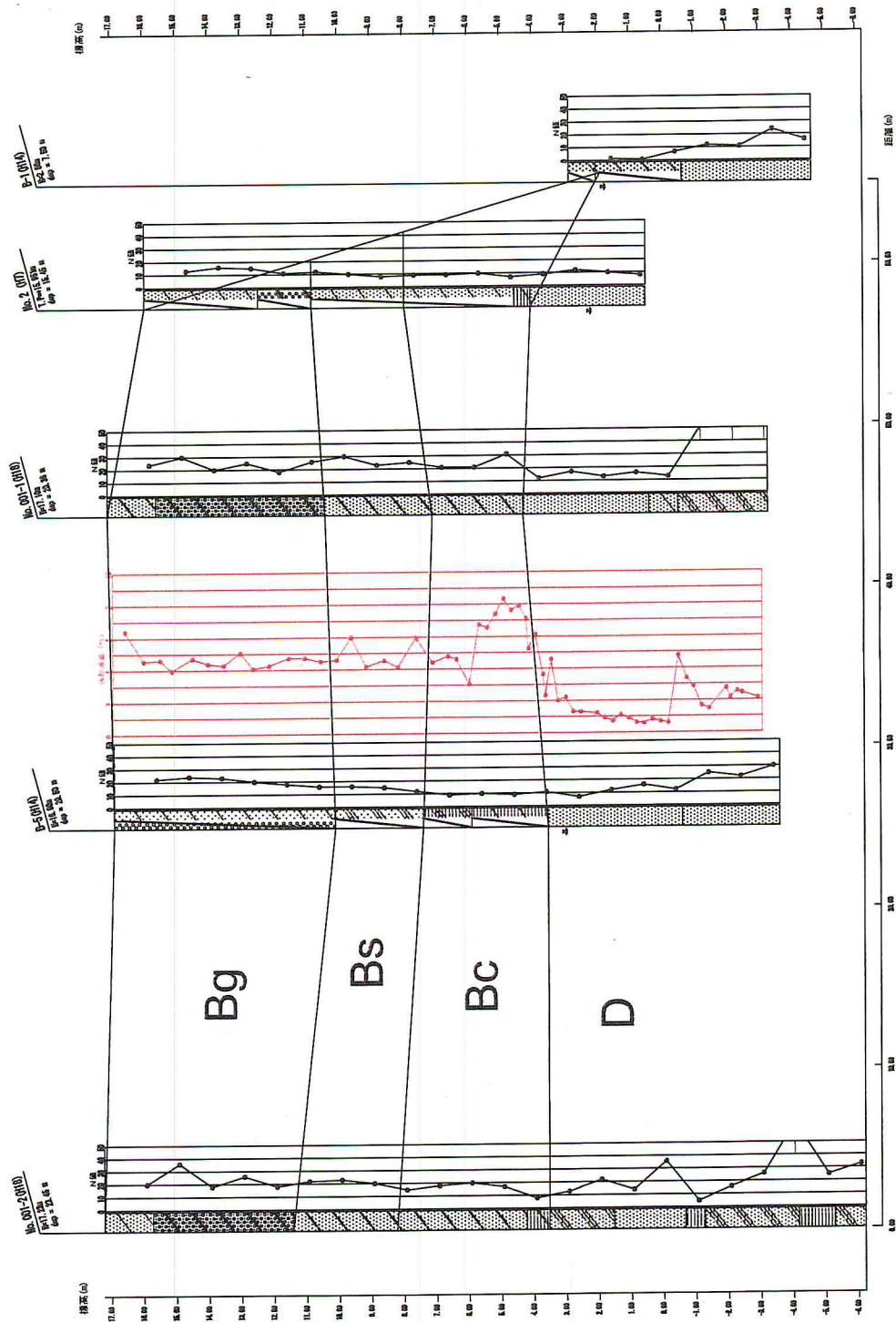


图4 断面作成位置



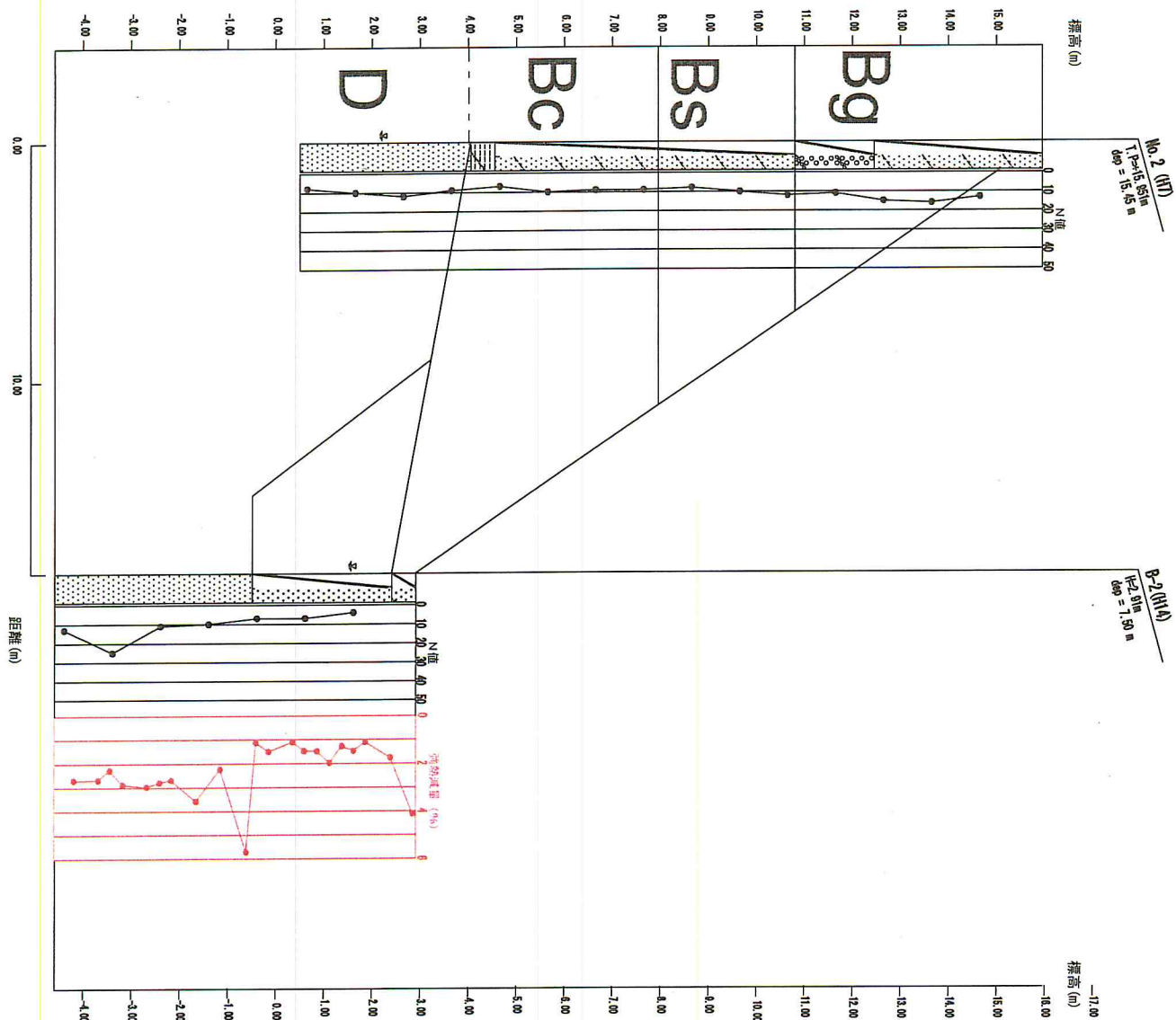
仮①測線



- 凡 例 発掘調査知見
- Bg : 盛土 (礫質土) - シルト質盛土 (天和期)
 - Bs : 盛土 (砂質土) - 砂質盛土 (天和期)
 - Bc : 盛土 (粘性土) - 築城期盛土 (慶長期)
 - D : 熱田層

図 5 背面盛土地質調査成果整理図面1

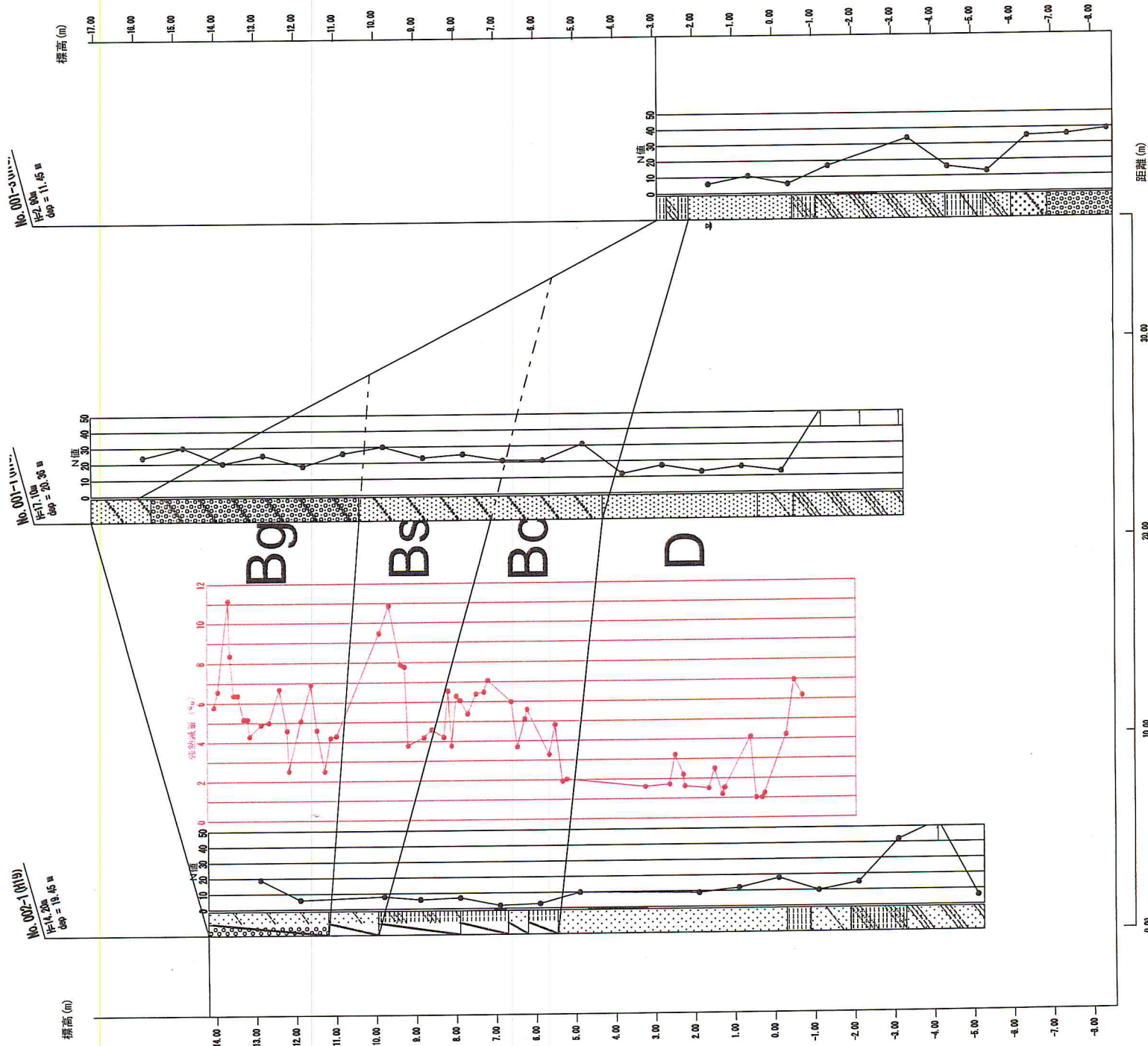
仮②測線



- 凡 例
- Bg : 盛土 (礫質土) —シルト質盛土 (天和期)
 Bs : 盛土 (砂質土) —砂質盛土 (天和期)
 Bc : 盛土 (粘性土) —築城期盛土 (慶長期)
 D : 熱田層
- 発掘調査知見

図 6 背面盛土地質調査成果整理図面2

仮③測線



凡 例
 発掘調査知見
 Bg : 盛土 (礫質土) - シルト質盛土 (天和期)
 Bs : 盛土 (砂質土) - 砂質盛土 (天和期)
 Bc : 盛土 (粘性土) - 築城期盛土 (慶長期)
 D : 熱田層

図 7 背面盛土地質調査成果整理図面3



写真 1 杭打設状況 東面 北東から



写真 2 杭打設状況 北面 北東から

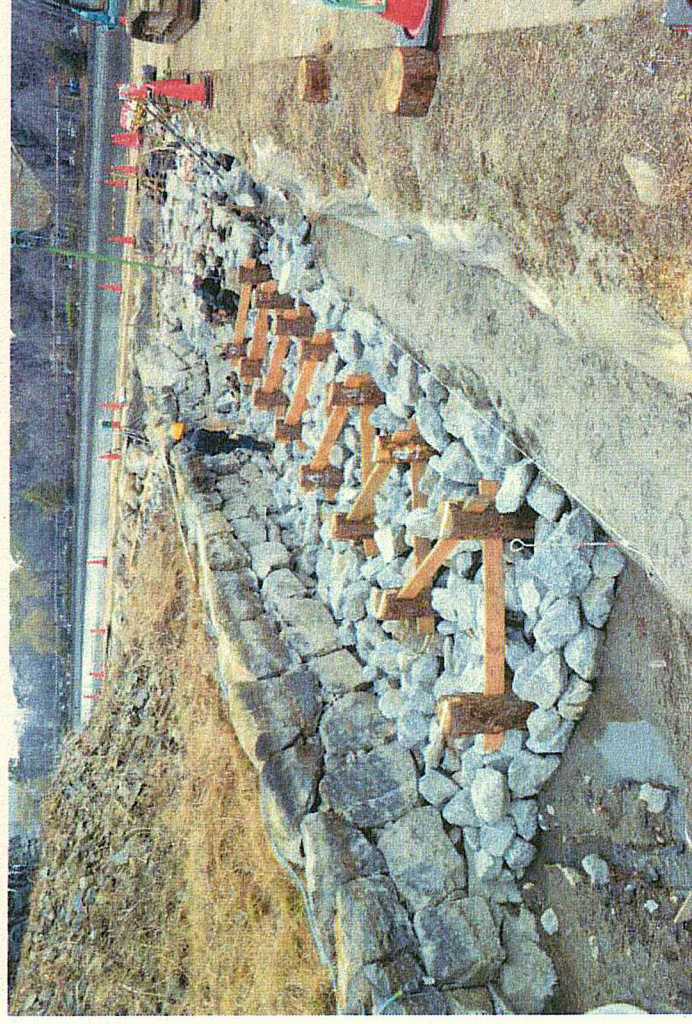


写真 3 捨石投入状況 東面 南東から

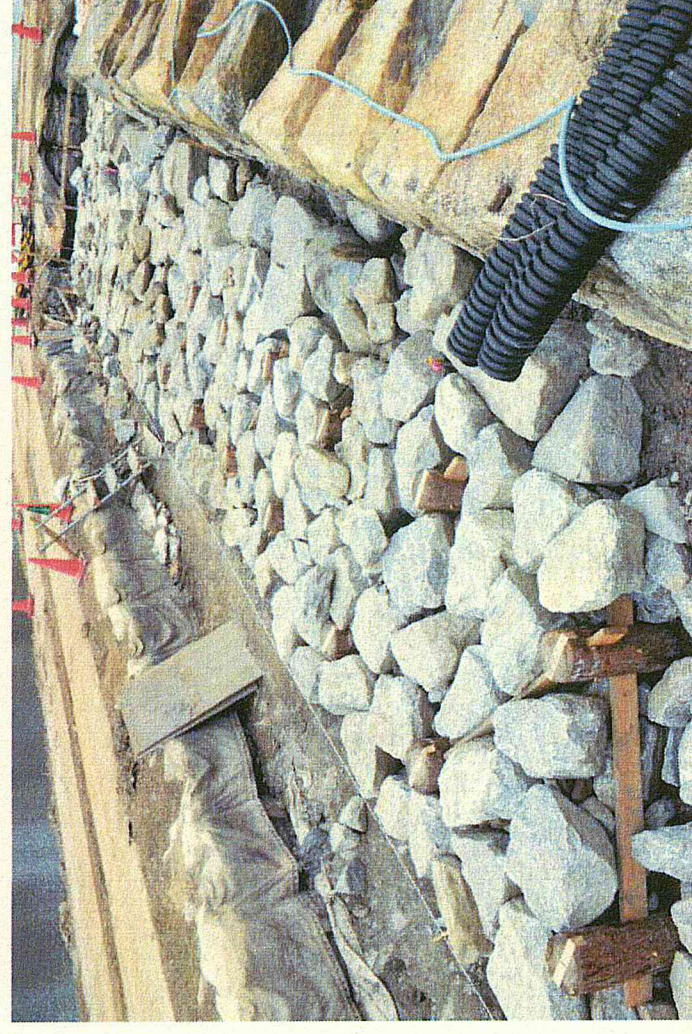


写真 4 捨石投入状況 北面 南西から

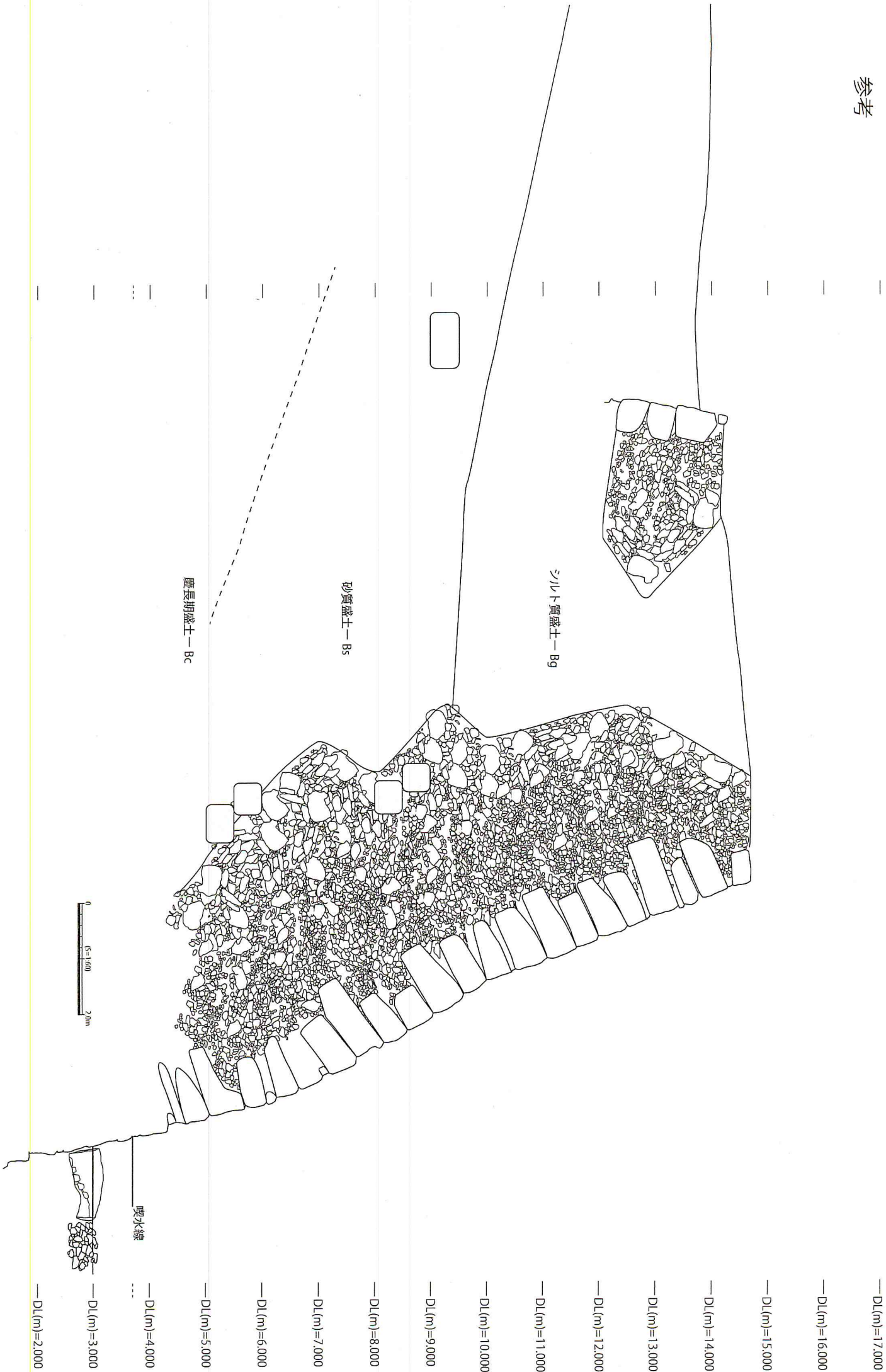


図 8 北面石垣背面盛土発掘調査成果整理図面

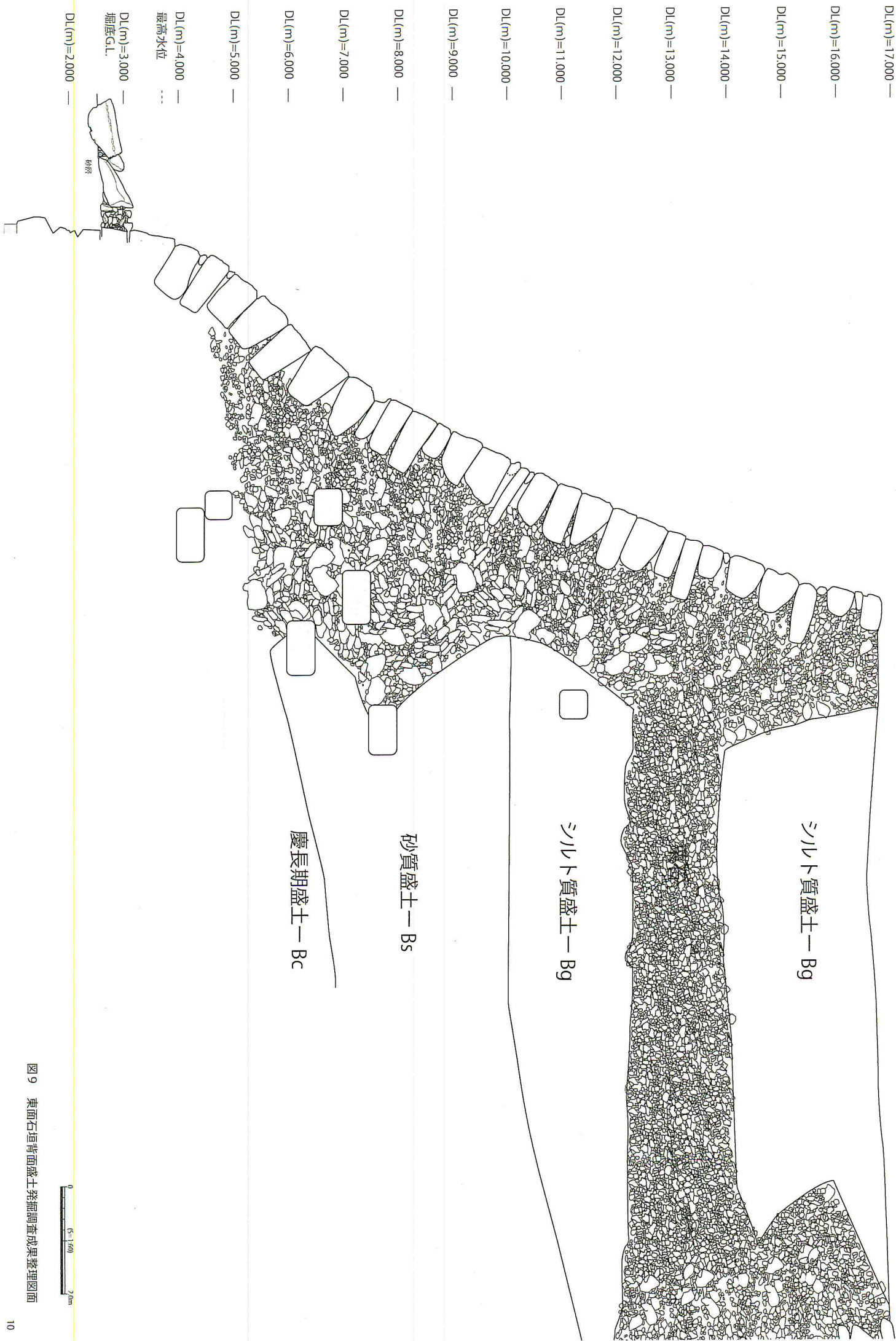
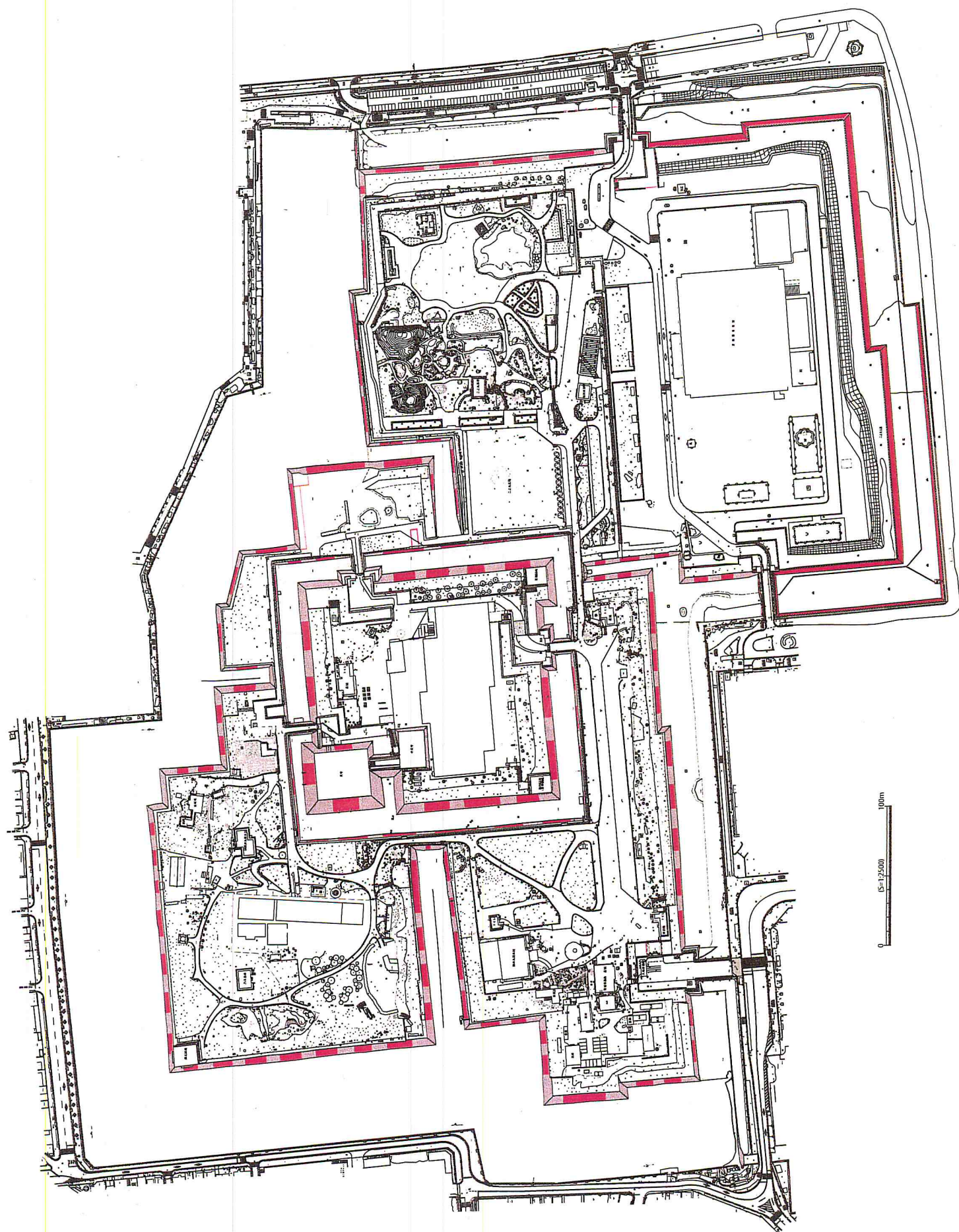
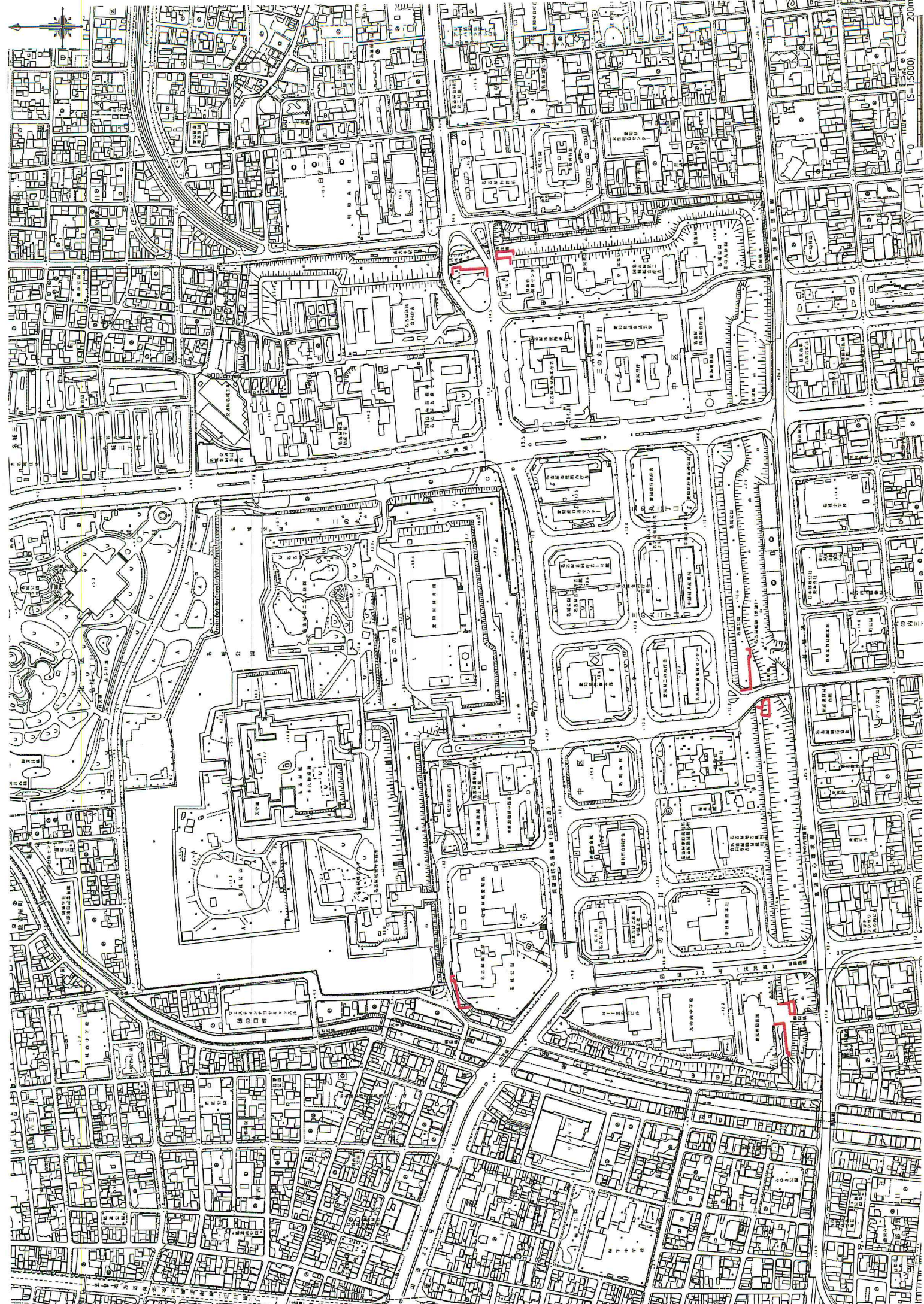


図9 東面石垣背面盛土群掘調査成果整理図面



0 100m
(S=1:2500)



天守台石垣の整備方針検討のための調査(案)

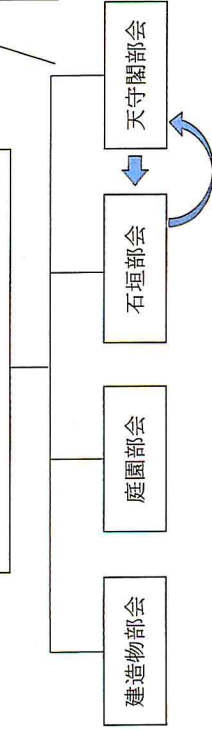
戦災により劣化し、局所的に孕み出しなどの課題をかかえる天守台石垣の保存・修復にかか
る整備方針を決定する必要がある

- ▶ 天守台石垣は築城時から昭和20年の戦災の痕跡をとどめ現在に至っている歴史的価値の高い遺構であることに留意し、整備方針を決定する
- ▶ 天守台石垣の保存・修復にかかる整備方針については、有識者等の意見を踏まえ方針を定め、文化庁における「復元検討委員会」で審査により決定される

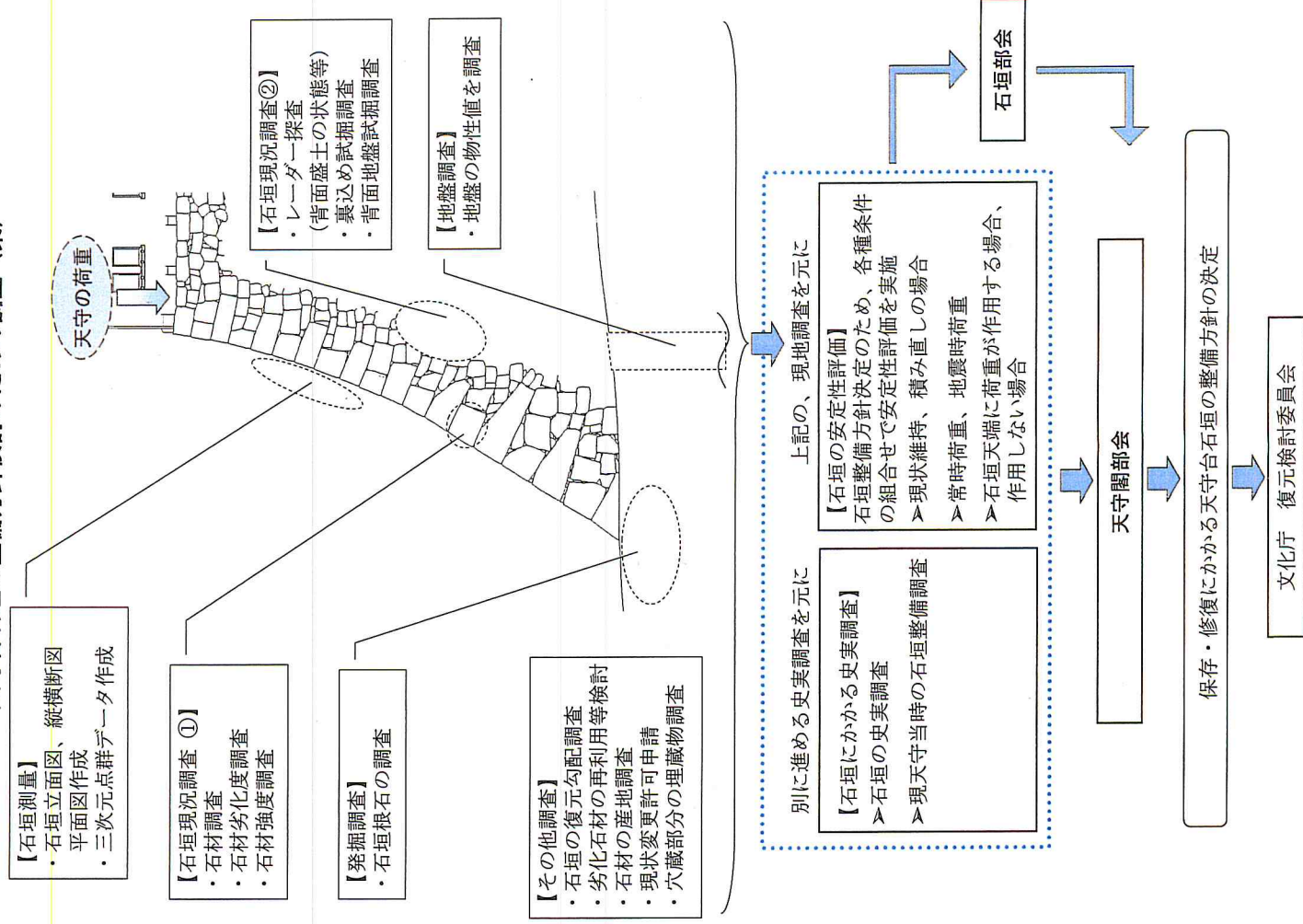
現天守閣の荷重は、昭和34年の天守閣再建時に構築されたケーソン基礎に支えられており、天守台石垣に天守閣の荷重は作用していない

天守閣木造復元事業にかかる方針決定のための有識者会議として天守閣部会を立ち上げ

特別史跡名古屋城跡全体整備検討会議



天守台石垣の整備方針
については適宜、石垣
部会に意見聴取



平成34年12月天守閣竣工の工程案(詳細)

[illegible]

(注) 基本設計期間の①は石垣詳細調査の準備期間、②は石垣詳細調査を基本設計に反映させる期間
実施設計期間の③は石垣詳細調査を実施設計に反映させる期間、④は文化庁の協議結果を実施設計に反映させる期間
⑤は現天守閣解体後の石垣調査（地層内部・外部取外し、調査）結果を必要に応じて実施設計に反映させる期間